



FUJI **MaxValu** **マルナカ** **BIG**

株式会社 **フジ**

第56期 **中間報告書**

56TH BUSINESS REPORT

2022年3月1日 ▶ 2022年8月31日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第56期中間期(2022年3月1日から2022年8月31日まで)の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

2022年11月



株式会社フジ 代表取締役社長 兼
株式会社フジ・リテイリング 代表取締役会長
尾崎 英雄



株式会社フジ 代表取締役副社長 兼
株式会社フジ・リテイリング 代表取締役社長
山口 普



株式会社フジ 代表取締役副社長 兼
マックスバリュ西日本株式会社 代表取締役社長
平尾 健一

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日~2022年8月31日)におけるわが国の経済状況は、2022年4-6月期の実質GDP成長率が前期比年率3.5%増となるなど、緩やかな回復基調となりました。歴史的な円安、天然資源や穀物価格の上昇による食料品やエネルギー価格の高騰に加え、新型コロナウイルス感染者数の急拡大などがありました。まん延防止等重点措置が解除された3月以降、外出機会が増え、また行動制限の解除により、旅行や娯楽、外食などのサービス消費が持ち直しました。一方で、緊迫化する世界情勢や為替変動リスクの拡大、電力需給ひっ迫、冬季に向けた感染拡大のおそれなど、景気の先行きは依然として不透明なままです。

このような環境下において、当社は、「お客さまと従業員の『圧倒的な安心とワクワク』を実現する」を経営ビジョンに掲げ、「現場主義」「従業員満足」「シナジー創出」を経営方針とし、最も地域に貢献する企業集団を目指しています。

業績については、2022年3月1日にマックスバリュ西日本株式会社と経営統合を行ったことにより収益、利益ともに増加しました。また、当期は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しているため会計基準の違いから前年比較ができかねる状態となっていますが、前年同基準による株式会社フジ・リテイリングとマックスバリュ西日本株式会社それぞれの個別数値の単純合算の売上高は前年並みで推移し、営業収益は増収となりました。食料品においては、前年からの内食需要の変化、鮮魚・精肉等の生鮮食品の相場高騰、行動制限の緩和に対応したものの、生鮮食品の売上鈍化などの影響もあり、前年実績を下回りました。一方で、衣料品・住居関連品においては、需要が回復した事に加え、猛暑対策商品の品ぞろえを拡充したことで衣料品を中心に緩やかな回復基調となりました。営業利益においては、光熱費の高騰により販売費及び一般管理費が大幅に増加し、前年同基準では減益となりました。

当社は、引き続きお客さま及び従業員の安全・安心の確保に注力し、防疫と経済活動が両立する社会への対応を推し進めます。あわせて、お客さま視点で購買行動を分析し最新ニーズへの対応に注力するとともに、ロスやコストの削減などの取り組みに努めてまいります。

加えて、2024年3月の合併による統合新会社設立を見据え、シナジーを創出すべく株式会社フジ・リテイリング及びマックスバリュ西日本株式会社と事業課題やその問題解決について議論を進めています。これまで以上に中国・四国エリア及び兵庫県西部の地域とお客さまの暮らしに密着し、地域とお客さまの豊かなくらしづくりを実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新設 岡山総合プロセスセンター



所在地 / 岡山県岡山市南区築港元町5

「岡山総合プロセスセンター」生産開始

2022年5月31日、岡山県岡山市に水産・畜産・デリカを複合した「岡山総合プロセスセンター」を竣工しました。9月より生産を開始し、水産・畜産商品は岡山県内約50店舗へ、惣菜は本州のマックスバリュ、マルナカ約200店舗へ納品され、店頭に並びます。“旬・鮮度・おいしさ”にこだわる「生鮮強化」、「産地直送」そして、当社が主体となり自ら原料を調達、製造、販売を行う「サプライチェーン改革」に取り組んでいきます。

1階に水産・畜産のプロセスセンター、2階にデリカプロセスセンターを併設。そうすることでそれぞれが製造する鮮度の高い素材を使用した独自の仕様・調味を施した、オリジナルの弁当や巻寿司等の完成品の提供が可能になります。また、簡単・便利で時短調理が可能な半加工品で店舗への供給を実施することで、既存のプロセスセンターの設備ではできない付加価値の高い商品・サービスを提供します。

岡山総合プロセスセンターの特徴

既存のスタッフの異動や約600人の新規採用など、プロセスセンターにヒト・モノなどの経営資源を集約することで、これまでの店舗製造を中心とした運営から、プロセスセンターでの一括製造を中心としたローコスト運営を実現します。また、店舗での商品製造の負担を軽減することで、これまで以上の店頭でのサービス向上を目指します。

センター内は従業員一人ひとりが過ごしやすいよう食堂や休憩室にもこだわり、働きやすい職場づくりを進めています。



物流ネットワーク

お客さまや店舗に商品を生供給し続けることを使命として、日々運営しています。店舗が効率的に運営できるよう、プロセスセンターの活用や、品質維持のための確実な温度帯別物流に取り組んでいます。さらに、エリアごとに仕入れや物流を統合し、店舗への効率的な配送・コストの削減等の改革を進めています。



新店舗情報



マルナカ山川店

旧マルナカ山川店を西へ300m移動し店舗を新築しました。ゆったりとした駐車スペースを確保し、焼きたてパンや、即食需要に応じた魚惣菜を強化した「おさかな工房」、「すきマル産直市」などを新しく導入しました。

所在地／徳島県吉野川市山川町前川207-1 開店日／2022年4月29日(金)



マックスバリュJU米子高島屋店

マックスバリュの出店としては、鳥取県内初、デパ地下への出店も初となります。地場商品をはじめ、地場食材を使用した惣菜など、地域に合わせた品揃えと、中四国・兵庫エリアに広く展開するという強みを生かした各地のおいしい商品の品揃えも展開していきます。

所在地／鳥取県米子市角盤町1-30 開店日／2022年6月18日(土)



マルナカ青山店

ドミナントを強化している姫路市内の27店舗目。マルナカ屋号の新店としてオープンすることで、地域密着や「食」へのこだわりを押し出します。産直野菜・果物、地元肉の品ぞろえや毎朝の鮮魚市の実施など、地元こだわった品揃えでお客様の生活をサポートします。

所在地／兵庫県姫路市青山三丁目13番6号 開店日／2022年7月2日(土)

トピックス

レジ待ち不要! My-Pi (マイピ) スキャンを25店舗へ導入!



お客さまご自身が店頭で貸出しする専用端末機を使用して、購入商品をその場で「ピッ!」とスキャンしながらお買物をさせていただくサービスです。お客さまのペースで楽しくお買物でき、支払い時には端末機をMy-Piスキャン専用の精算機に読み込ませるだけでスピーディーに支払いが完了します。また、マイバッグ・マイバスケットをお持ちの方は、お買物をしながら直接袋詰めができ、さらにスピーディーなお買物が可能です。導入以降、たくさんのお客さまに便利にご活用いただき、上期時点で25店舗にて導入しています。

マルナカ若草店 愛媛県内のスーパー初のデリバリーサービス Wolt を導入!



食の時短ニーズや簡便化、おうち時間の拡大などに対応するため、マルナカ若草店にてデリバリーサービス「Wolt(ウォルト)」を開始しました。広島市・高松市内店舗に続き3店舗目の導入となります。生鮮商品からアルコール飲料、日用品まで約1,200品目を取り扱い、注文から30分程度でご希望の場所までWolt専用ドライバーが商品をお届けします。



トピックス

今治市と「包括連携協定」を締結



愛媛県今治市とフジ・リテイリングは、より緊密な連携を図り、地域の一層の活性化及び市民サービスの向上を図るべく、3月24日(木)に「包括連携協定」を締結しました。また、このたびの包括連携協定締結とあわせて、協働での取り組みの一つとして、日常の買い物にご不自由されている方々の暮らしをサポートする、フジ移動スーパー「おまかせくん」のサービスをフジグラン今治にて4月2日(土)から開始しました。

左から今治市長 徳永繁樹様、愛媛(東南予)運営事業部長 西山博明

地元商品の発掘・導入～愛媛県産「みきゃんサーモン・愛の瀬みきゃん真鯛」販売開始！～

地域の魅力をより多くの人に伝えるために、中国・四国エリアにおける地元生産者さまと協力し商品の発掘・導入をすすめ、販売エリアの拡大を行っています。

愛媛県は日本屈指の柑橘類の生産地であり、今回発売したフジオリジナル「みきゃんサーモン・愛の瀬みきゃん真鯛」は、愛媛県と民間企業が共同開発した「みかんのオイル」を飼料に加える技術を活用し養殖を行いました。今後も特産品を通じた商品をお届けすることで日常の暮らしに楽しさやワクワクを感じていただける提案を行っています。



創業55周年

Pick up!

創業55周年の感謝をこめて～もっと、この街の声をかたちに～

フジは、1967年愛媛県宇和島市に1号店を開店、現在では中国・四国6県に102店舗を展開し、毎日のくらしがより便利で豊かになるお手伝いをしています。55年間これまで支えてくださったお客さまや従業員に感謝の気持ちをこめて“もっと”地域に密着した取り組みや、“もっと”フジのファンになってもらうキャンペーンやプレゼント企画など様々な楽しい記念事業を実施しています。



55周年記念商品

中国・四国の地元の味にこだわった商品やフジオリジナル商品など、毎日のくらしがより便利に、楽しさやワクワクを感じていただける55周年記念商品をお届けしています。



地域のお客さまともっと深く、ずっと長く、つながる～「この街に、あってよかった。」プロジェクト～

それぞれの店舗が主体となり地域の拠点として、お客さまともっと深いつながりを持ち、もっと地域に貢献できる企業・店舗となることを目指し、地域に密着した様々な活動に取り組んでいます。



連結財務諸表(要約)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2021年8月31日)	前期 (2022年2月28日)	当中間期 (2022年8月31日)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	14,882	12,500	36,969
受取手形及び売掛金	3,415	3,341	13,863
営業貸付金	437	413	398
商品	9,256	9,255	31,114
その他	2,671	3,039	10,414
貸倒引当金	△114	△112	△123
流動資産合計	30,549	28,437	92,636
固定資産			
有形固定資産			
建物	53,468	50,859	100,622
土地	39,918	39,618	114,308
その他	11,435	11,022	37,521
有形固定資産合計	104,823	101,500	252,452
無形固定資産	7,809	6,805	28,490
投資その他の資産			
投資有価証券	21,693	20,312	21,391
差入保証金	10,060	10,067	18,227
建設協力金	4,100	3,820	3,536
その他	3,317	4,049	16,433
貸倒引当金	△0	△20	△168
投資その他の資産合計	39,170	38,228	59,420
固定資産合計	151,803	146,534	340,363
資産合計	182,352	174,972	433,000

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2021年8月31日)	前期 (2022年2月28日)	当中間期 (2022年8月31日)
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	19,439	17,570	63,311
短期借入金	7,141	7,545	30,148
未払法人税等	1,469	1,139	3,433
その他	15,355	13,659	42,318
流動負債合計	43,404	39,913	139,210
固定負債			
長期借入金	20,749	17,447	50,667
長期預り保証金	8,565	8,456	13,744
その他	13,472	13,819	22,377
固定負債合計	42,791	39,722	86,788
負債合計	86,195	79,636	225,999
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	19,407	19,407	22,000
資本剰余金	19,703	19,703	142,025
利益剰余金	55,043	55,503	39,575
自己株式	△248	△373	△375
株主資本合計	93,905	94,241	203,226
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	2,943	1,700	3,625
退職給付に係る調整累計額	△919	△841	△91
その他の包括利益累計額合計	2,023	859	3,533
非支配株主持分	228	235	241
純資産合計	96,157	95,336	207,000
負債純資産合計	182,352	174,972	433,000

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2021年3月1日～ 2021年8月31日)	当中間期 (2022年3月1日～ 2022年8月31日)
売上高	150,213	371,483
売上原価	113,865	272,268
売上総利益	36,348	99,215
営業収入	7,912	14,687
営業総利益	44,260	113,902
販売費及び一般管理費	40,955	108,794
営業利益	3,305	5,108
営業外収益	1,623	1,279
営業外費用	265	348
経常利益	4,663	6,039
特別利益	24	4,420
特別損失	307	928
税金等調整前四半期純利益	4,381	9,532
法人税等	1,382	3,581
四半期純利益	2,999	5,951
非支配株主に帰属する四半期純利益	△0	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,999	5,943

フジホームページで、
IR情報、トップメッセージ
動画を公開しています。



<https://www.the-fuji-hd.com/ir/toall.php>

Point

2022年3月1日にマックスパリュ西日本(株)を完全子会社とする経営統合を行ったことから、営業収益、各利益は増加。

特に、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初計画には無かった株式売却を行った結果、株式売却益42億62百万円を計上したことにより大幅な増益となった。

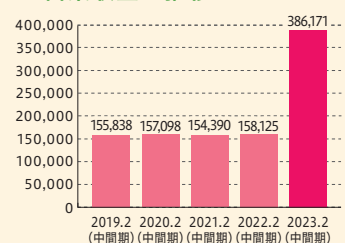
【フジ・リテイリング】

- 外出や帰省需要の拡大により大型ショッピングセンターの客数が増加したことに加え、創業55周年記念商品や記念販促の取組みにより食料品・衣料品ともに売上高が向上し、営業収益は増益。
- 光熱費の高騰により販売費及び一般管理費が増加となり、営業利益は減益。

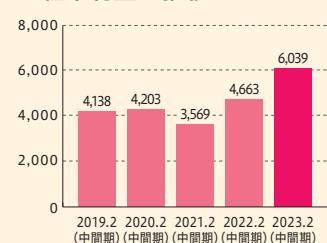
【マックスパリュ西日本】

- 行動規制緩和による巣ごもり需要や内食需要の減少を受け、生鮮や日配食品などの売上高が減少し、営業収益は減収。
- 営業収益の減収による売上総利益高の減少、電気料金高騰によるコストアップ等により営業利益は減益。

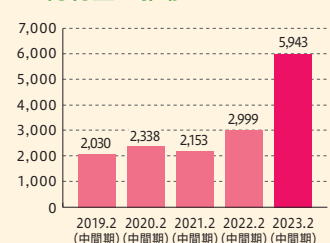
■ 営業収益の推移 (単位:百万円)



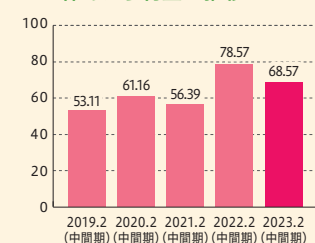
■ 経常利益の推移 (単位:百万円)



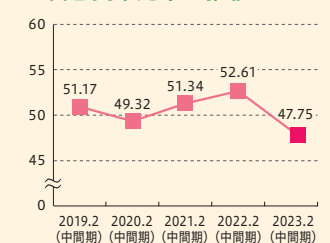
■ 純利益の推移 (単位:百万円)



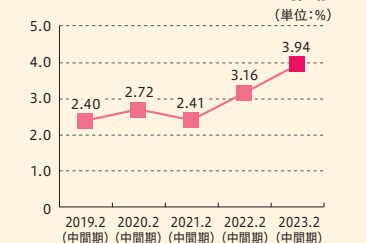
■ 1株あたり利益の推移 (単位:円)



■ 自己資本比率の推移 (単位:%)



■ ROE(自己資本当期純利益率)の推移 (単位:%)



会社概要

当社は、2022年3月1日にマックスバリュ西日本(株)との経営統合に伴い持株会社体制となり、現在、持株会社である(株)フジ、事業会社である(株)フジ・リテイリング及びマックスバリュ西日本(株)との3社体制にて、グループ体で中四国・兵庫県西部においてお客さまの豊かなくらしづくりを創造する企業づくりを進めております。

会社名	株式会社フジ
設立	1967年9月12日
本社所在地	愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
代表者	代表取締役社長 尾崎 英雄
資本金	220億円
事業内容	グループ経営管理事業 及び資産管理事業
従業員数	月給制社員 11名
ホームページアドレス	https://www.the-fuji-hd.com

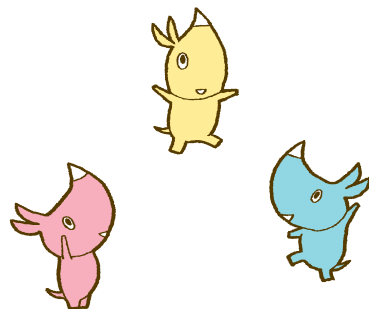
役員一覧
代表取締役社長 尾崎 英雄
代表取締役副社長 山口 普
代表取締役副社長 平尾 健一
取締役 松川 健嗣
取締役 豊田 靖彦
取締役 伊渡村 直樹
取締役(社外) 横山 めい
取締役(社外) 渡瀬 ひろみ
取締役(社外) 石橋 三千男
監査役 金野 修
監査役 西松 正人
監査役(社外) 青木 謙城
監査役(社外) 寄井 真二郎

会社名	株式会社フジ・リテイリング
設立	2021年11月15日
本社所在地	愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
代表者	代表取締役会長 尾崎 英雄 代表取締役社長 山口 普
資本金	10百万円
事業内容	総合小売業
従業員数	月給制社員 1,879名 時間給制社員(8h換算) 2,892名
ホームページアドレス	https://www.the-fuji.com

役員一覧
代表取締役会長 尾崎 英雄
代表取締役社長 山口 普
代表取締役専務 松川 健嗣
専務取締役 森田 英樹
常務取締役 仙波 保幸
取締役 大西 文和
取締役 豊田 洋介
取締役 横山 めい
取締役 平尾 健一
監査役(社外) 角倉 文明
監査役 金野 修
監査役 寄井 真二郎
監査役(社外) 松本 浩伸

会社名	マックスバリュ西日本株式会社
設立	1982年3月5日
本社所在地	広島県広島市南区段原南一丁目3-52
代表者	代表取締役社長 平尾 健一
資本金	17億50百万円
事業内容	食料品及び日用雑貨用品の小売販売
従業員数	月給制社員 5,267名 時間給制社員(8h換算) 20,403名
ホームページアドレス	https://www.maxvalu.co.jp

役員一覧
代表取締役社長 平尾 健一
常務取締役 塩治 雅洋
取締役 齋藤 光義
取締役 宮宇地 剛
取締役 伊渡村 直樹
取締役 山口 普
監査役 青木 謙城



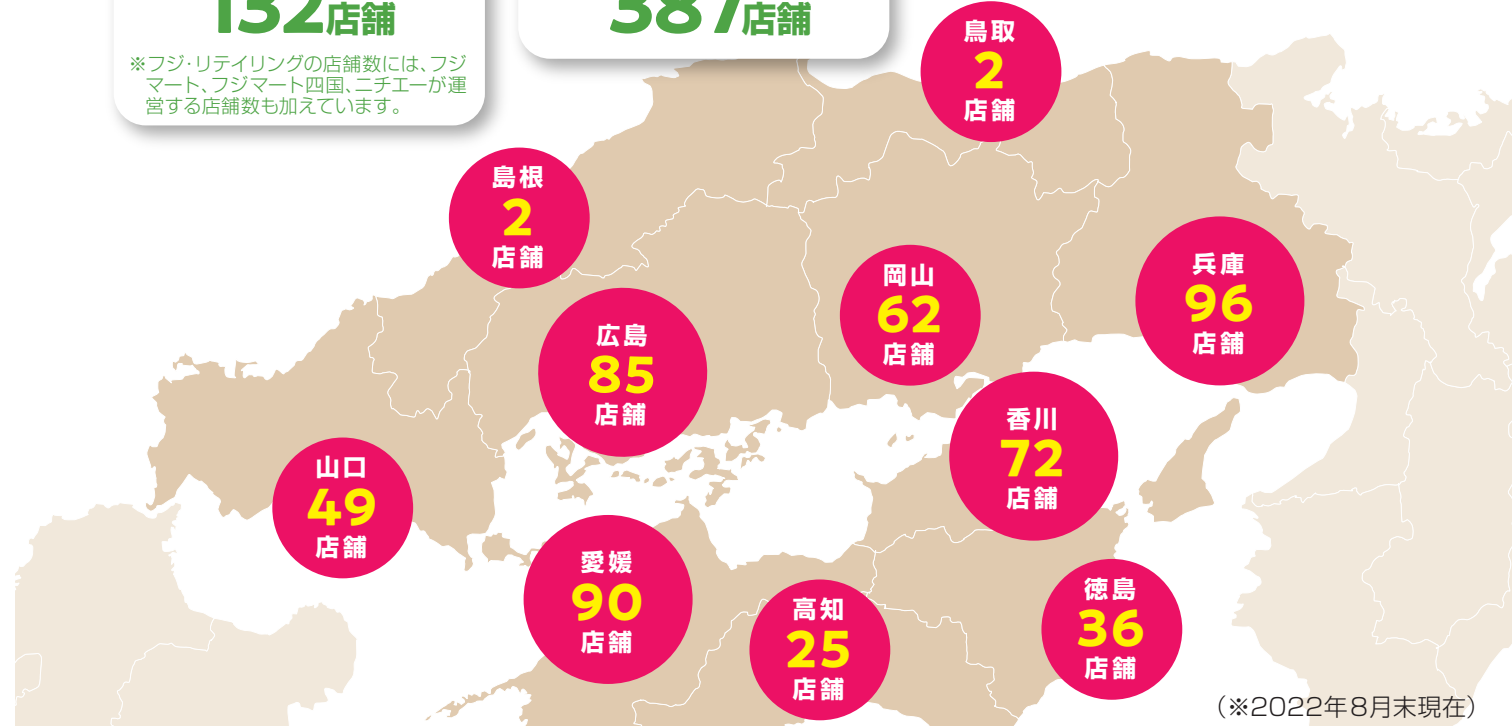
県別店舗数

中四国を中心にグループ全体 519店^(※)の店舗網を活かし、最も地域に貢献する企業集団「中国・四国No.1のスーパーリージョナルリテラー」への深化を果たし、企業価値の最大化を実現してまいります。

フジ・リテイリング
132店舗

マックスバリュ西日本
387店舗

※フジ・リテイリングの店舗数には、フジマート、フジマート四国、ニチエーが運営する店舗数も加えています。



(※2022年8月末現在)

関係会社

■ フジ・リテイリング

- 小売業
- (株)レデイ薬局
- (株)フジマート
- (株)フジマート四国
- (株)ニチエー
- フジ・TSUTAYA・エンターテインメント(株)
- (株)フジモーターズ

- 小売周辺事業
- (株)フジデリカ・クオリティ
- (株)フジファミリーフーズ
- (株)フジ・カードサービス
- (株)フジ・スポーツ&フィットネス
- (株)フジ・アグリフーズ
- (株)フジファーム
- (株)フジ・ハートデリカ
- (株)フジ・ハートクリーン

- その他
- (株)フジセキュリティ
- (株)フジ・トラベル・サービス
- (株)フジ・レンタルリース
- (株)FNクリーン
- (株)ユーミーケア
- (株)フジすまいるファーム飯山
- (株)西南企画
- (株)アクトピア企画

■ マックスバリュ西日本

- (株)大洋水産
- (株)オリックス
- カシウル西日本(株)
- (株)ハッピーライフ愛
- (株)マルナカツーリスト

株式の状況

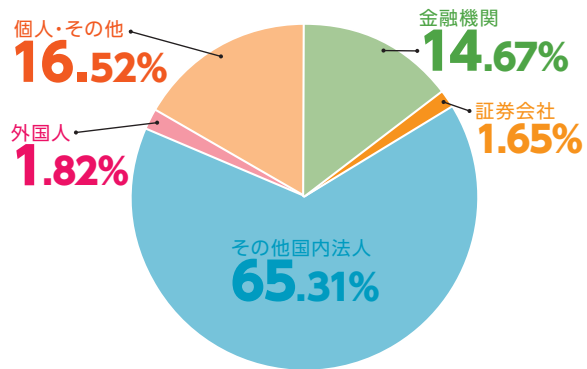
■ 株式発行状況

発行可能株式総数 130,000,000株
 発行済株式の総数 86,856,954株
 株主数 35,303名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン(株)	43,992	50.6
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	5,073	5.8
(株)アステイ	4,240	4.8
フジ共栄会	2,403	2.7
フジ親栄会	1,551	1.7
(株)伊予銀行	1,166	1.3
(株)広島銀行	1,165	1.3
(株)愛媛銀行	1,165	1.3
SMB C日興証券(株)	1,014	1.1
(株)日本カストディ銀行(信託口4)	939	1.0

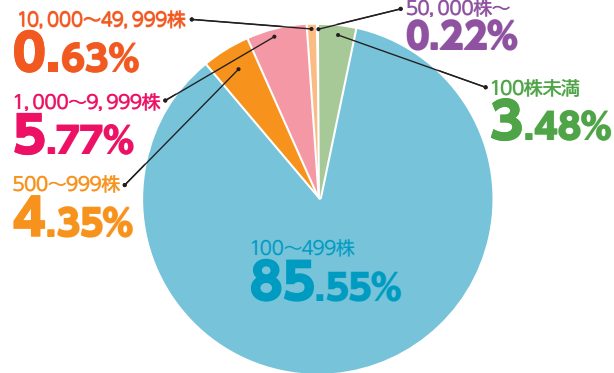
■ 所有者別分布状況(株式数)



■ エリア別株主分布



■ 所有株式数別分布状況



株主優待制度について

当社の株主優待制度は、株主の皆さまへの日頃のご支援に対する感謝とともに、株主優待制度を通じて当社へのご理解を一層深めていただくべく、株主優待ご優待券(割引券)を中心に3つのコースをご用意しております。

※次回の優待につきましては、2023年2月末日を基準日といたします。
 中間期の優待につきましては、廃止しております。

ご優待制度の内容 ご所有株式数	Aコース 株主さまご優待券	Bコース フジネット ショップポイント	Cコース 地域特産品
100株~299株	100円券×60枚 (6,000円分)	3,000円分	3,000円相当
300株~399株	100円券×80枚 (8,000円分)		
400株~499株	100円券×100枚 (10,000円分)		
500株~999株	100円券×120枚 (12,000円分)		
1,000株~1,999株	100円券×200枚 (20,000円分)	10,000円分	10,000円相当
2,000株~2,999株	100円券×400枚 (40,000円分)		
3,000株~3,999株	100円券×600枚 (60,000円分)		
4,000株~4,999株	100円券×800枚 (80,000円分)		
5,000株以上(一律)	100円券×1,000枚 (100,000円分)		

株主さまご優待券のご利用方法

1回のお買い上げ金額が1,000円(税込)以上の場合につき、1,000円毎に1枚ご利用できます。

株主さまご優待券の有効期限

有効期限は発行後1年間とし、株主さまご優待券に記載されている期限とします。

■ 長期保有株主優待制度

株主の皆さまの長期間のご支援に対する感謝とともに、長期保有株主優待制度を通じて、当社への理解を一層深めていただきたいとの考えから、8月末日に1年以上、当社株式を300株以上保有していただいている株主さまを対象として、新米を贈呈しております。

対象株主

300株以上を継続して1年以上保有されている株主様
 (毎年8月末日の基準日時点において、継続して1年以上、同一名義で保有されている株主様)



贈呈商品

300株以上保有・・・新米2kg
 500株以上保有・・・新米5kg

贈呈時期

毎年11月下旬

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月末日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 東証 プライム市場

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により下記ホームページに掲載します。
<https://www.the-fuji.com>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先及び照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にお申出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記照会先までご連絡ください。

【特別口座の口座管理機関変更について】

2016年5月20日より、特別口座の口座管理機関を、三井住友信託銀行株式会社に変更いたしました。

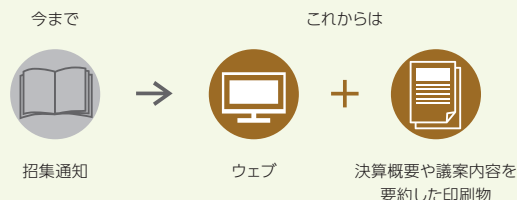
お知らせ

会社法改正による株主総会資料(招集通知)の電子提供制度開始について

2023年5月開催の定時株主総会より、これまで郵送していた株主総会資料が原則ウェブ化されます。株主の皆さまは、会社からご案内するウェブサイトにアクセスすることで、株主総会資料の全文をご確認いただけます。

■ 株主総会資料[招集通知]が、原則として「印刷物」から「ウェブ」になります。

■ 印刷した全文の招集通知は原則として発送しなくなります。ただし、決算概要や議案内容を要約した印刷物を作成し、議決権行使書とともに発送する予定です。



■ インターネットの利用が困難な方等で、全文の招集通知(インターネット開示事項を除く)の印刷物が必要な場合は、株主名簿管理人(三井住友信託銀行株式会社)へ請求手続きをいただくことで、書面交付請求が可能です。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行
証券代行部

0120-533-600

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)



株式会社 **フジ** 〒790-8567 愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
TEL (089)926-7111



文字が識別しやすく読みやすい
ユニバーサル書体を使用しています。